

成形・加工技術検討会 事業報告

中村創一*, 林 一哉*, 舟木淳夫*

Annual Report of Meeting for the Study on Molding and Processing Technology

Soichi NAKAMURA, Kazuya HAYASHI and Atsuo FUNAKI

1. はじめに

三重県では、県内企業、大学等の高等教育機関、行政機関及び支援機関等と連携・協働し、県内企業の新たな挑戦を支援するために、平成 29 年度から「みえ産学官技術連携研究会」を発足させた。みえ産学官技術連携研究会では、分野別に 4 研究会（地域資源研究会、基盤技術研究会、成長分野研究会、広域連携研究会）が設置され、本検討会は「基盤技術研究会」において、自動車関連産業をはじめとする成形・加工技術に関する情報提供やニーズの収集などを行い、企業の方々と共に技術力を高めていくことを目的としている。ここでは、平成 30 年度に実施した「成形・加工技術検討会」の活動について報告する。

2. 検討会の開催

当検討会ではこれまでに、アルミダイカストの内部欠陥評価と高品質化や、塑性加工におけるシミュレーション技術などに関する 4 回の検討会を実施してきた。

今年度は、近年、材料試験やシミュレーション等の解析に広く用いられている光学式三次元計測技術（デジタル画像相関法・DIC）を対象とした第 5 回成形・加工技術検討会を開催した。検討会では、講師に丸紅情報システムズ株式会社の岡田薫氏をお招きし、カメラ式非接触三次元計測システムの活用事例やデモ機を用いた実演などについてご紹介頂いた（図 1 参照）。また、工業研究所からは万能試験機（100kN）とビデオ式非接触伸び幅計を用いた計測の実演などを行った。

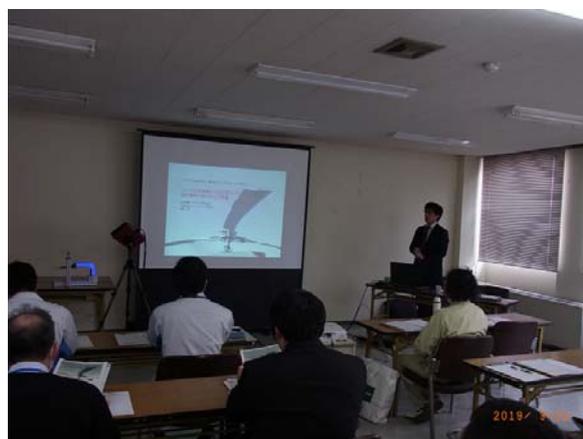


図 1 第 5 回検討会における講演の様子

講演終了後には、企業との情報交換を行った。本検討会の参加者は 6 名の参加があったが、企業における取組内容は多様で、求められるニーズも様々であることが確認できた。

3. まとめ

本検討会を通じ、企業においては新素材の加工技術や評価技術など、品質向上に関する様々な課題があり、その関心の高さが確認できた。

また、今年度、当検討会から、企業、大学とネットワークを構築し、競争的資金の応募をすることが出来た。

今後、5 軸加工機を使用した加工技術やプレス成形シミュレーションなど、最新技術に関する情報提供等を行う予定である。また、引き続き、競争的資金の獲得に向けた取り組みや、広域連携のためのネットワーク構築などについても注力していく。

* ものづくり研究課

表 1 平成 30 年度に開催した成形・加工技術検討会

検討会	開催日	場所	内容	参加者数
第 5 回 成形・加工技術 検討会	平成 31 年 3 月 22 日	工業研究所	<p>【講演】 カメラ式非接触三次元計測システムの活用事例の紹介および実演</p> <p>【話題提供】 三重県工業研究所の計測設備等の紹介</p> <p>【意見交換】 デジタル画像相関法に関するニーズについて</p>	6 名